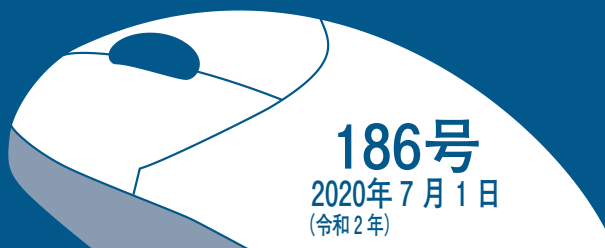


徳島ペンクラブ通信



1967年(昭和42年)創立

発行
徳島ペンクラブ
徳島市東沖洲2丁目1-13
徳島県教育印刷(株)内
TEL 088-664-6776

186号

2020年7月1日
(令和2年)

役員会で決算など承認

●総会 コロナ禍で開けず●

コロナ禍のため5月に予定されていた徳島ペンクラブの令和2年度総会は、やむなく中止となりました。

それに代わる役員会が6月20日、徳島市中前川町の県立文学書道館で開かれ、昨年度の事業・決算・会計監査などの報告が行われ、いずれも承認されました(4〜7ページにその詳細を掲載)。また2年ごとの役員改選で、丁山俊彦会長が、引き続き会長に、船越淑子理事を副会長に任ずる新役員案を承認しました。

丁山会長から会員の皆さんへ

新型コロナウイルスの感染拡大で、活動の自粛が求められ、徳島ペンクラブにおきましても5月19日に予定されていた定期総会は中止のやむなきに至りました。残念ではありますが、一日も早い終息を祈るしかありません。なお「総会資料」につきましては、本紙に掲載させていただきましたのでご了承ください。近いうちに全員が一堂に集えますことを楽しみにしております。

令和2年度「徳島ペンクラブ」新役員

(敬称略、順不同)

▽顧問 竹内菊世

▽参与 上野隆 岸積 鳥羽俊明 蔭山美紗子 上窪則子

▽会長 丁山俊彦
▽副会長 田上倉平 西池冬扇 上窪青樹
▽理事 鈴木綾子 船越淑子 安曇統太 山口久雄 辻本一英 福島誠浄 東根泰章 高木純 木村英昭 竹内絃子 関真由子

石川文彦

▽会計 小川公三

▽監事 新開英毅 二橋満璃

▽事務局 鈴木綾子(局長)

山崎純世 渡辺恵子

丁山会長



船越副会長



石川編集長



山崎泰子



コロナ禍が影響、全員マスク姿で開かれた役員会

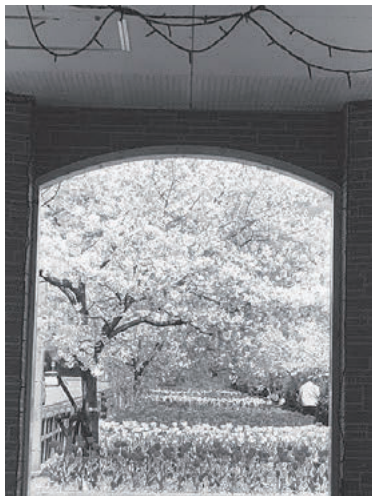
企 画 展

「徳島花ものがたり」に向けて

藍 人

■ 令和2年10月3日(土)、4日(日) ■ 徳島県立文学書道館

はて、今年の県民文化祭、開催されるのだろうか。県の担当課では、各文化団体に対して開催の可否、企画展の準備状況などについて意見聴取を行っている。その結果は神のみぞ知ることもあり、私としては、今はただ粛々と準備を進めていくしかない、と思っている。通信の7月号が出る頃には同10日の締め切りを前に集まった原稿の校正が進んでいるだろう。8月から9月にかけては展示用パネルと広報用チラシの発注・作成が待っている。そして、10月3日(土)、4日(日)の2日間、県立文学書道館において企画展を開催、という運びである。更に、企画展終了後、日を置かずして、県内の幾つかの施設において巡回パネル展を予定している。文字どおり企画展の花開くことを期待している。



デ・レイケ公園の桜とチューリップ



モラエスの花 (キバナアマ)



大川原高原のアジサイ



最明寺の菘

県内の歴史的建造物の魅力

巡回展始まる

昨年(2019年)の第21回徳島県民文化祭分野別フェスティバルでは、徳島県内に点在する歴史的建造物を取り上げました。国の重要文化財のほか、今も実際に使用され街の中に溶け込んでいる魅力ある建物などを、徳島ペンクラブの会員が写真撮影。解説文を添え、一枚のパネルにし、徳島市中前川町の県立文学書道館で展示しました。

好評だったことから、4月からは県内4個所で巡回展を開催することにいたしました。ところが巡回展最初の美馬市立図書館での開催は、新型コロナ禍のために途中で中止。続く6月2日から同16日までは板野町文化の館「さくらホール」で開かれました。

このあと8月7日から同16日まで「あわぎんホール」2階特別展示室で、続いて来年1月26日から2月2日まで徳島市の阿波銀プラザで開催の予定です。



美馬市立図書館で開かれた巡回展



パネルを見ながら話し合う家族
(板野町文化の館「さくらホール」)

リレーエッセー

新型コロナウイルス禍により4月7日には7都府県に緊急事態宣言が出され、その後、全国に拡大された。徳島でも自粛の毎日で、徳島ペンクラブも活動中止を余儀なくされた。パンデミック(世界的な感染症大流行)の怖さを思い知らされた。

パンデミック

2月15日迄の統計は罹病40万人、死者4341名とある。これは全国統計ではなく、県内の数字だった。予防として内務省局長は「呼吸保護器の使用を奨励。使用しない者は劇場や活動写真館、電車への入場を可成禁止」と通達。対策内容は今と変わらない。呼吸保護器とはマスクのことだ。

30年ほど前、大正期の県内新聞を調べていて気になったことがあった。5年から8年にかけて毎年のように怖い病気が流行し、多くの方が亡くなっていた。まず「虎軍」の猛威。見出しだけなら阪神タイガースと間違えそうだが、「虎列拉(コレラ)」のことだった。続いて天然痘が蔓延。7年からは「20世紀最後のパンデミック」といわれる「スペイン風邪」が大きく取り上げられる。大正8年3月1日付紙面によると「流行性感冒初発以来

3度にわたるこの風邪により、世界で4000万人、日本でも40万人亡くなった。スペイン風邪と名付けられたが、スペインで始まったわけではない。当時は第一次世界大戦中。中立国のスペインは、この風邪を世界に大きく伝えることができたためこの名がついた。あまりに大量の死者が出たため、各国に戦争継続を断念させるきっかけともなった。今の世界を見回すと各国とも自国中心の指導者が多い。パンデミックは共通の敵。一致して対策に当たれないものか。

(石川文彦)

平成31(2019)年度 徳島ペンクラブ事業報告

月	日	事業	詳細
4月		第20回とくしま随筆大賞および 富士正晴エッセイ賞 募集開始	広報・各種マスコミ・各図書館・学校関係
	初旬	① ペンクラブ通信 No182発行	
5月	19日	徳島ペンクラブ総会 16:00~18:00 阿波観光ホテル	第1部 講演 内部講師 鈴木綾子さん テーマ「こころ鴉色にそめて」 第2部 総会 第3部 懇親会
	下旬	県民文化祭 企画委員会	
6月	16日	まちかど朗読会 13:30~15:30 アミコ2F ミーティングルーム	「ペンクラブ選集 part36」の随筆を 朗読団体(ことだま・さざなみ)による朗読
	30日	とくしま随筆大賞 応募締切	当日消印有効
	下旬	県民文化祭 企画委員会	
7月		とくしま随筆大賞 審査	一次審査 二次審査
		② ペンクラブ通信 No183発行	「ペンクラブ選集 part37」の原稿募集. 特集案内
		県民文化祭 企画委員会	
8月		とくしま随筆大賞 発表	入賞者発表(徳島新聞掲載・受賞者に連絡)
		ペンクラブ選集 part37 企画開始	
		県民文化祭 企画委員会	
9月	8日	とくしま随筆大賞 表彰式 10:00~14:00 阿波観光ホテル	第1部 表彰・講評・朗読 第2部 懇親会(ランチ会食)
		③ ペンクラブ通信 No184発行	県民文化祭イベント・文学旅行の案内等
10月	12日	第21回県民文化祭 諸準備18:00~	展示 設営等
	13~ 14日	第21回県民文化祭 分野別フェスティバル・イベント 県立文学書道館	「徳島の歴史的建造物の魅力」 パネル展示・講演 講師 森兼三郎さん(建築家)
11月	10日	秋の文学旅行	宝塚方面
12月	下旬	徳島ペンクラブ選集 part37 発刊	(同封書類) ペンクラブ賞の投票依頼・投票用紙(ハガキ) 研修会およびペンクラブ賞 授賞式の案内
令和 2年 3月		徳島ペンクラブ賞 表彰式 新型コロナ感染のため中止	
		随筆大賞20周年記念「作品集」発刊	第1回~20回 随筆大賞・準大賞の作品
		とくしま随筆大賞 企画	募集要項作成 後援依頼

その他

- ① 役員会：毎月1回実施しました。
- ② 事業については各委員会を開いて原案を作成し、役員会で決定しました。

平成31年度 収支決算

(平成31年4月1日～令和2年3月31日)

A 収入総額	2,062,069円
B 支出総額	1,923,455円
C 差引額	138,614円 (次年度へ繰越)

A 収入の部

科 目	決 算 額	予 算 額	内 訳												
会 費 収 入	627,500	670,000	平成31年度会費5,000円 627,500円 10月以降入会 2,500円												
負 担 金 収 入	754,000	770,000	ペンクラブ選集 Part37掲載料 568,000円 <table border="0"> <tr> <td>2頁</td> <td>7,000円×71人</td> <td>=497,000円(64)</td> </tr> <tr> <td>4頁</td> <td>11,000円×2人</td> <td>=22,000円</td> </tr> <tr> <td>6頁</td> <td>15,000円×2人</td> <td>=30,000円</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>1人</td> <td>=19,000円</td> </tr> </table> 会合出席者負担金 総会 6,000円×31人=186,000円	2頁	7,000円×71人	=497,000円(64)	4頁	11,000円×2人	=22,000円	6頁	15,000円×2人	=30,000円	その他	1人	=19,000円
2頁	7,000円×71人	=497,000円(64)													
4頁	11,000円×2人	=22,000円													
6頁	15,000円×2人	=30,000円													
その他	1人	=19,000円													
補 助 金 収 入	450,000	380,000	県民文化祭助成金 250,000円 阿波銀行より・三好市より 200,000円												
寄 付 金 収 入	28,438	10,000	文学旅行残金 28,438円												
雑 収 入	51,736	70,004	選集売り上げ・利息2円												
前年度繰越金	150,395	150,395													
計	2,062,069	2,050,399													

B 支出の部 (単位:円)

科 目	決 算 額	予 算 額	内 訳
事 業 費	1,214,671	1,100,000	ペンクラブ選集印刷代 792,000円 ペンクラブ通信印刷代 80,280円 徳島随筆大賞関係 222,235円 研修会その他 120,156円
通 信 費	129,709	250,000	選集37号発送費 67,375円 ペンクラブ通信発送費 54,674円 その他通信費 7,660円
会 議 費	240,515	280,000	総会 192,000円 役員会・企画委・編集会議 48,515円
諸 会 費	9,400	10,000	徳島市文化協会会費等 9,400円
慶 弔 費	0	20,000	
事 務 費	27,767	10,000	事務用品(用紙・ファイル)
特別事業費	273,301	300,000	県民文化祭参加事業(建造物展) 273,301円
雑 費	28,092	20,000	振込手数料等
予 備 費	0	60,399	
計	1,923,455	2,050,399	

平成31年度の収支決算について監査の結果、適正に処理されていたことを認めます。

令和2年4月4日

会計監査 新 開 英 毅 ㊟

会計監査 二 橋 満 璃 ㊟

令和2年(2020)度 徳島ペンクラブ事業計画

月	日	事業	詳細
4月	初旬	第21回とくしま随筆大賞 募集開始 ペンクラブ通信 ① No185発行	広報・各種マスコミ・各図書館・学校関係 ペンクラブ賞の発表 随筆大賞20周年記念「作品集」を同封
	8日~ 26	① 「徳島の歴史的建造物の魅力」 パネル巡回展	美馬市立図書館 (新型コロナで自粛のため途中で中止)
5月	19日	徳島ペンクラブ総会 (中止)	
6月	2日~ 16日	② 「徳島の歴史的建造物の魅力」 パネル巡回展	板野町文化の館 さくらホールギャラリー
	30日	とくしま随筆大賞 応募締切	当日消印有効
	下旬	県民文化祭 企画委員会	
7月		とくしま随筆大賞 審査 ペンクラブ通信 ② No186発行	一次審査 (7/21) 二次審査 「ペンクラブ選集 part38」の原稿募集. 特集案内
	下旬	県民文化祭 企画委員会	
8月	7日~ 16日	③ 「徳島の歴史的建造物の魅力」 パネル巡回展	あわぎんホール (郷土文化会館) 2F 特別展示室
	下旬	とくしま随筆大賞 発表 ペンクラブ選集 part38 企画開始	入賞者発表 (徳島新聞掲載・受賞者に連絡)
		県民文化祭 企画委員会	
9月	6日	とくしま随筆大賞 表彰式 10:30~14:00 ペンクラブ通信 ③ No187発行	阿波観光ホテル 第1部 表彰・講評・朗読 第2部 懇親会 (ランチ会食) とくしま随筆大賞 入賞者発表 県民文化祭イベント・文学旅行の案内等
10月	2日	第22回県民文化祭 搬入18:00~	展示 設営等
	3日~ 4日	第22回県民文化祭 分野別フェスティバル	県立文学書道館 徳島「花」ものがたり パネル展示・講演
11月		秋の文学旅行	
12月	下旬	徳島ペンクラブ選集 part38 発刊	同封書類 ペンクラブ賞の投票依頼・投票用紙 (ハガキ) 研修会およびペンクラブ賞 授賞式の案内
1月	26日~ 2/2	④ 「徳島の歴史的建造物の魅力」 パネル巡回展	阿波銀プラザ
3月		研修会	阿波観光ホテル ペンクラブ賞 表彰式 講演
		とくしま随筆大賞 企画	募集要項作成 後援の申請

その他

- ① 役員会：毎月1回実施します。
基本的に第3土曜日10:00~12:00 (会場の都合で変更の場合もあります)
- ② 事業については各委員会を開いて原案を作成し、役員会で決定します。

令和2年度 収支予算

(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

A 収入総額	1,923,616円
B 支出総額	1,923,616円
C 差引額	0円

A 収入の部

科 目	本年度予算額	前年度予算額	内 訳
会 費 収 入	615,000	670,000	令和2年度会費 5,000円×123人=615,000円
負 担 金 収 入	720,000	770,000	選集 Part38掲載料 570,000円 会合出席者負担金 総会 6,000円×25人=150,000円
補 助 金 収 入	370,000	380,000	県民文化祭助成金 270,000円 その他 100,000円
寄 付 金 収 入	10,000	10,000	各種寄付金他 10,000円
雑 収 入	70,002	70,004	ペンクラブ選集等売上代金 70,000円 利息 2円
前年度繰越金	138,614	150,395	
計	1,923,616	2,050,399	

B 支出の部

科 目	本年度予算額	前年度予算額	内 訳
事 業 費	1,100,000	1,100,000	選集 Part38印刷代 800,000円 ペンクラブ通信印刷代 100,000円 とくしま随筆大賞賞金等 100,000円 講演会・研修会 100,000円
通 信 費	180,000	250,000	選集・通信発送費 130,000円 その他発送費他 50,000円
会 議 費	210,000	280,000	理事会・役員会等 50,000円 総会 150,000円
諸 会 費	10,000	10,000	徳島市文化協会会費等
慶 弔 費	10,000	20,000	
事 務 費	30,000	10,000	事務用品代他
特別事業費	300,000	300,000	県民文化祭参加事業：徳島「花」ものがたり 300,000円
雑 費	30,000	20,000	振込手数料等
予 備 費	53,616	60,399	
計	1,923,616	2,050,399	

* 各科目間の流用を認める。

ペンクラブ選集 Part 38 作品提出のお願い

○募集作品

随筆や評論、短編小説などの散文、俳句や川柳、連句、現代詩の韻文を募集します。どんなテーマでも構いません。前回と同様、散文部門、韻文部門に分けて徳島ペンクラブ賞を選ぶ予定です。また、これとは別に今年の徳島県民文化祭分野別フェスティバルのテーマが「徳島花ものがたり」であることから「私の好きな花」と題し、80文字以内でまとめてください。会員全員が参加して下さるようお願いいたします。通信9月号送付の際、応募用はがきを同封します。

○作品原稿

見開き2ページ2000字を基本として偶数ページになるように。写真やイラストなどを入れる場合は、その分、文章を短くしてください。

○掲載負担金

見開き2ページ7000円(追加2ページ4000円)。後日、会計から送付される郵便振替などで納入くださるようお願いいたします。「私の好きな花」については、掲載料は不要です。

○原稿提出の締め切り

9月末日

○送付先

〒771-1231
板野郡藍住町富吉字須崎54 石川文彦宛
電話(携帯) 090 7624 0749
メール ishikawafumihiko@outlook.jp



新編集長に石川文彦氏

竹内紘子、関眞由子委員は続投

徳島ペンクラブは、このほど開いた役員会で石川文彦氏の理事昇格と編集長就任を決めた。また、竹内紘子、関眞由子の両編集委員には、引き続き編集長の補佐役をお願いすることとした。今回の異動は、前編集長の勇退に伴うもの。

新編集長になった石川氏は、徳島新聞OBで68歳。慶応義塾大学経済学部卒業。新聞社では、記者として文化部、整理部など主に編集畑で活躍、最後は徳島新聞読者室長を務めた。この間、「徳島新聞50年史」の編集委員として前史を中心に執筆。

受賞

徳島県表彰 高木 純さん

おめでとうございます。

訃報

三好 昭一郎さん(令和2年5月6日逝去)91歳

徳島ペンクラブ通信前月号「ほんの散歩道」で、今年のお正月付で出版された阿波郷土史研究 Part 16「西条城番と藩初の勧農政策」が紹介されているように、晩年に至るまで精力的に徳島の郷土史研究を続けておられました。(合掌)

後記 編集

上窪則子さんの後を受けて編集を担当する石川文彦です。地元の新聞社でずっと昔、紙面編集を担当したこともあるので、やれるだろうとは思ったのですが、今年はコロナ禍で予定していた行事類がなくなり、伝える材料なしでどうしたらいいの、と頭を抱えました。竹内紘子さん、関眞由子さんとともに頑張ります。